

会長就任ご挨拶

本日、東京都中小企業団体中央会の通常総会で、第5代目の会長に就任いたしました。21年ぶりの会長交代でありまして、まことに身の引き締まる思いであります。

誠心誠意努めさせていただきますが、会長職を全うするためには、副会長さん始め、役員・評議員の皆様、また、会員の皆様方の絶大なるご支援、ご協力をいただかなければ、不可能であります。どうか、絶大なるご支援・ご協力を賜りますよう心よりお願い申し上げます。

ご承知のとおり、中央会は、組合法に基づき、中小企業組合を支援していく専門機関であります。使命は大きく二つあります。一つは、「既存組合の運営の円滑化・適正化そして活性化支援」であり、もう一つは、「未組織中小企業の組織化、いわゆる”組合作り”」であります。組合活動を通じて中小企業の振興・発展に寄与することです。しかしながら、現在、中小企業の共同事業、中小企業組合のあり方が大きな曲がり角に差しかかっています。今、多くの組合が、組合員の減少や組合員の共同事業への参加率の減少に悩み、その傾向になかなか歯止めがかからない状況にあります。まず、その現実を直視しなければなりません。

中央会も来年創立満50周年を迎え、半世紀の歴史を刻んでまいりました。この大きな節目に、私は会長に就任したわけですが、私は、中央会の運営に当たっては、菅谷前会長が常々お話していた「原理原則を大事にする」ことを踏襲し、その上で、新しい会員サービスのあり方を考えて見たいと思います。

また、会員組合の運営の円滑化・適正化そして活性化支援が効率的且つ円滑に取り組めるような「支援体制のあり方」についても事務局と共に検討し、取り組んでみたいと思います。

終わりに、貴組合のますますのご発展と関係者の皆様方のご活躍をお祈り申し上げまして、ご挨拶とさせていただきます。

平成17年5月12日

東京都中小企業団体中央会
会長 大村 功 作